

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域推進会議の設定が、難しく、今年度は定期的に出来ていない。議題もなかなか決まらないため、準備も出来ず、そのため、出席者への確認も遅れ、出席率が悪くなっている。仕事もあるため、日中の出席も難し面もある。	年間4回の開催の定例化を図り、地域の中でグループホームが定着していけるように努力したい。集まりも悪いので、月に1回行っている、カラオケに標準を合わせて、地域の方々の意見を取り入れながら、興味のある話題を提供していきたい。	1. 年間4回の定期的な開催に向けて内容の検討をしながら、地域の方も興味のもてる物を考えていく。(年間の計画の実施) 2. カラオケを中心にしながら、家族や地域の方の交流をはかり、意見を反映させていく	3ヶ月
2	6	家族の同意を得ながら、危険な場面に関しては、拘束を行っているが、最近は拘束の場面は減りつつある。安全には配慮しながらも、最小限にできるようにしていきたい。また、定期的にモニタリングをしていないため、文章化したい。	必要最小限、あるいは、拘束の無いホームを目指して、絶えず考えられる体制を作っていきたい。職員の意識を変えながら、危険と拘束の意味を考えていきたい。	1. モニタリングの定期的な実施。そのことにより、拘束の必要性や安全性との兼ね合いを考えていく。 2. 不必要な拘束は、同意を得ていてもしない方向で職員の意識を高めていく。	3ヶ月
3	23	入居時にアセスメントはとっているが、その後は、モニタリングのみで、アセスメントの見直しはしていない。身体的にあるいは精神的に変化が大きいので、問題をさらに明らかにするためにも、定期的な見直しは必要だと思われる。	大きな変化がある場合は、1年ごとに見直しをしていきたい。また、状態が安定している場合は、介護保険の更新時に、見直しをしていきたい。	1. アセスメントシートの変更も含めて、全員の見直しを今年度中にしていきたい。 2. 4月がケアプランの変更月になるため、その場面に生かしたい。	4ヶ月
4	36	一人一人の尊厳とプライバシーの確保は頭では解っているが、時に、馴れ合いの関係にもなりやすい。接遇等普段はあまり考える事は無いようなテーマで、初心に帰り、みんなで学習する必要性を感じている。	親しい中にも礼儀ありを忘れず、言葉使いや、関わり方、あいさつ等を丁寧に考えていきたい。そこから、新たな発見があることを期待したい。	接遇のマニュアルを職員で学習しながら、基本的な視点に立ち、考える機会を持っていきたい。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。